

2022年3月期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)

2022年5月12日



目次

1. 2022年3月期 決算概要

2. 2023年3月期 業績予想

3. 2023年3月期 重点施策

2022年3月期 決算概要



2022年3月期 決算概要

(単位：百万円)

	2022年3月期 期初計画	2022年3月期 実績	計画 達成率(%)	2021年3月期 実績	前期 同期 増減(%)
売上高	2,100	2,068	98.5%	1,801	14.8%
売上原価	837	773	92.4%	618	25.0%
売上総利益	1,263	1,295	102.5%	1,183	9.5%
販管費	1,013	946	93.4%	1,019	-7.1%
営業利益	250	348	139.2%	163	113.2%
経常利益	250	350	140.0%	165	112.1%
当期純利益	170	248	145.9%	138	79.3%

期初計画対比で売上は、ほぼ達成。原価、販管費の未達は人員による。
前期対比では売上、利益ともに大幅に増加。

売上構成の推移

(単位：百万円)

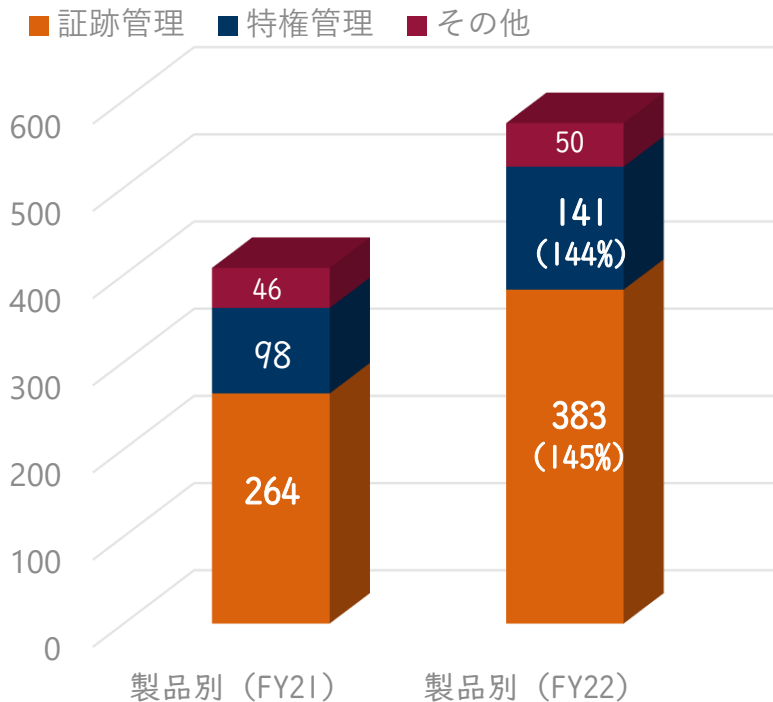
	2022年3月期 期初計画	2022年3月期 実績	計画 達成率(%)	2021年3月期 実績	前期 同期 増減(%)
ライセンス	580	575	99.1%	409	40.6%
保守サービス	1,185	1,197	101.0%	1,136	5.4%
クラウドサービス	100	81	81.0%	81	-1.2%
コンサルティング サービス	174	176	101.1%	109	61.3%
SIO常駐サービス	54	21	38.9%	21	-1.5%
その他	7	16	228.6%	42	-61.4%
売上高合計	2,100	2,068	98.5%	1,801	14.8%

前期対比ではライセンス及びコンサルティングサービスが大きく伸長。
クラウドサービスはライセンス買取への移行により横ばい。
SIO常駐サービスは体制構築できずに横ばい。

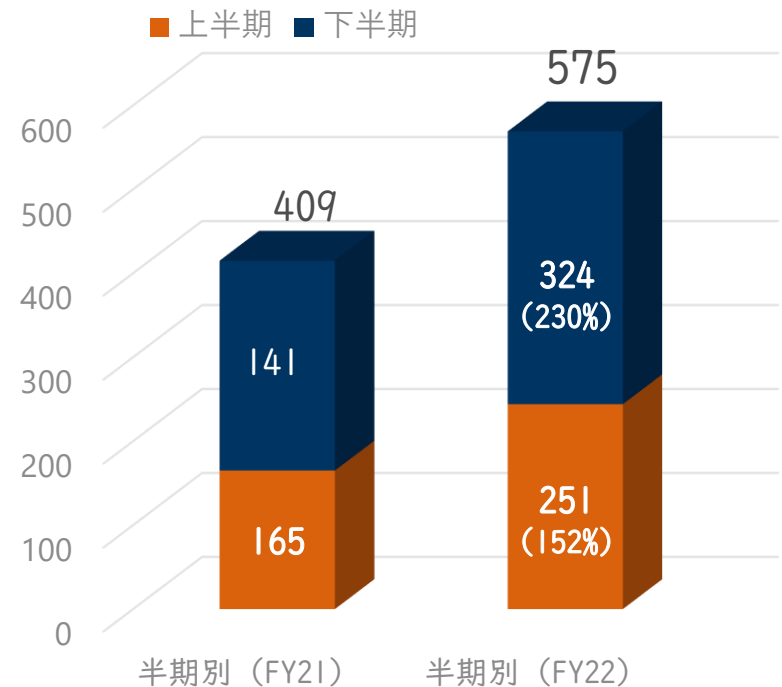
ライセンス売上 対前期比較

(単位：百万円)

製品別売上



半期別売上

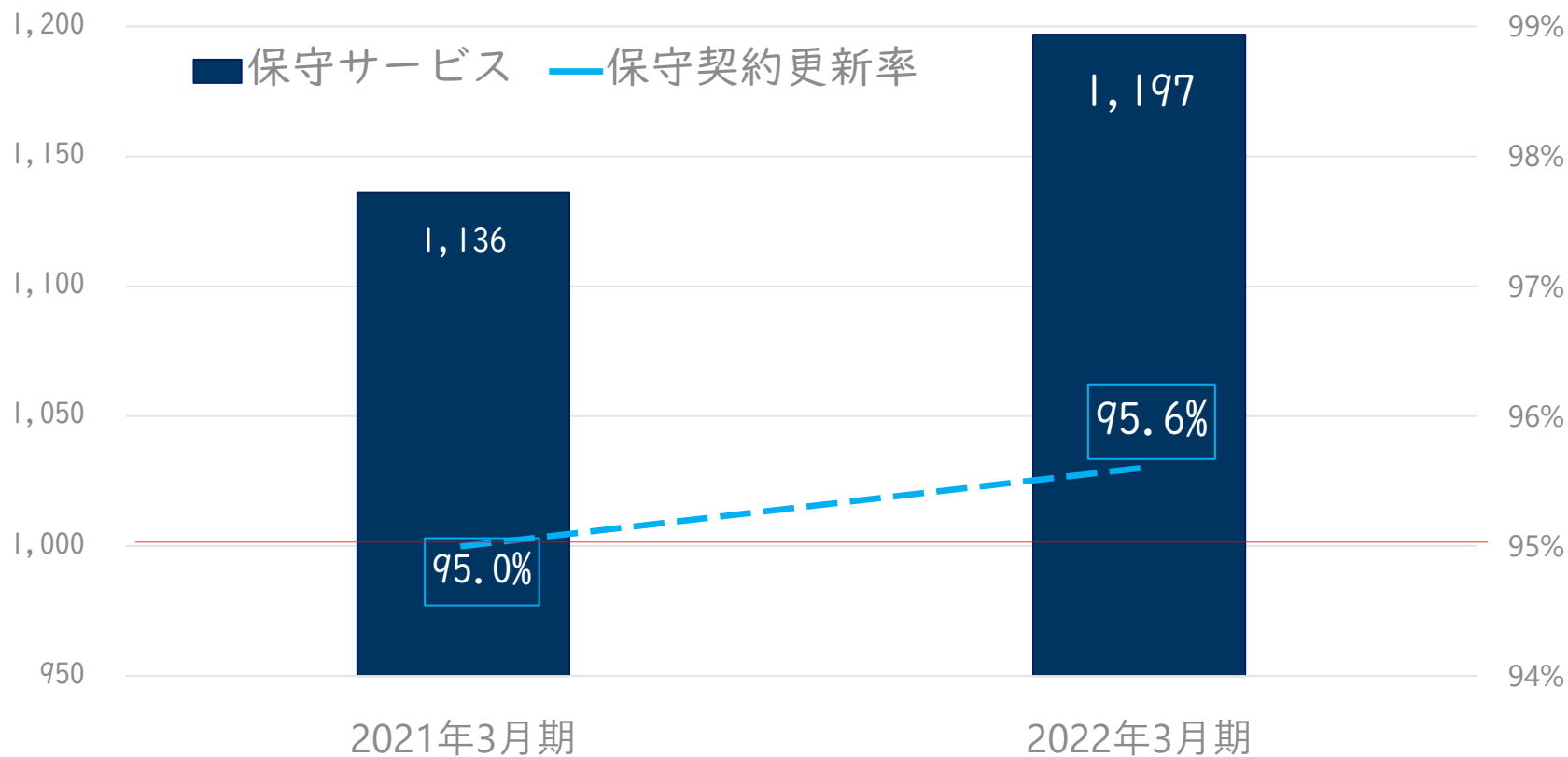


金融業界や官公庁向けの大型案件受注や代理店協業強化により大きく増加。
背景としては、オンプレミスからクラウドへの移行やテレワーク対応による。

保守サービス売上 対前期比較

(単位：百万円)

(保守契約更新率)

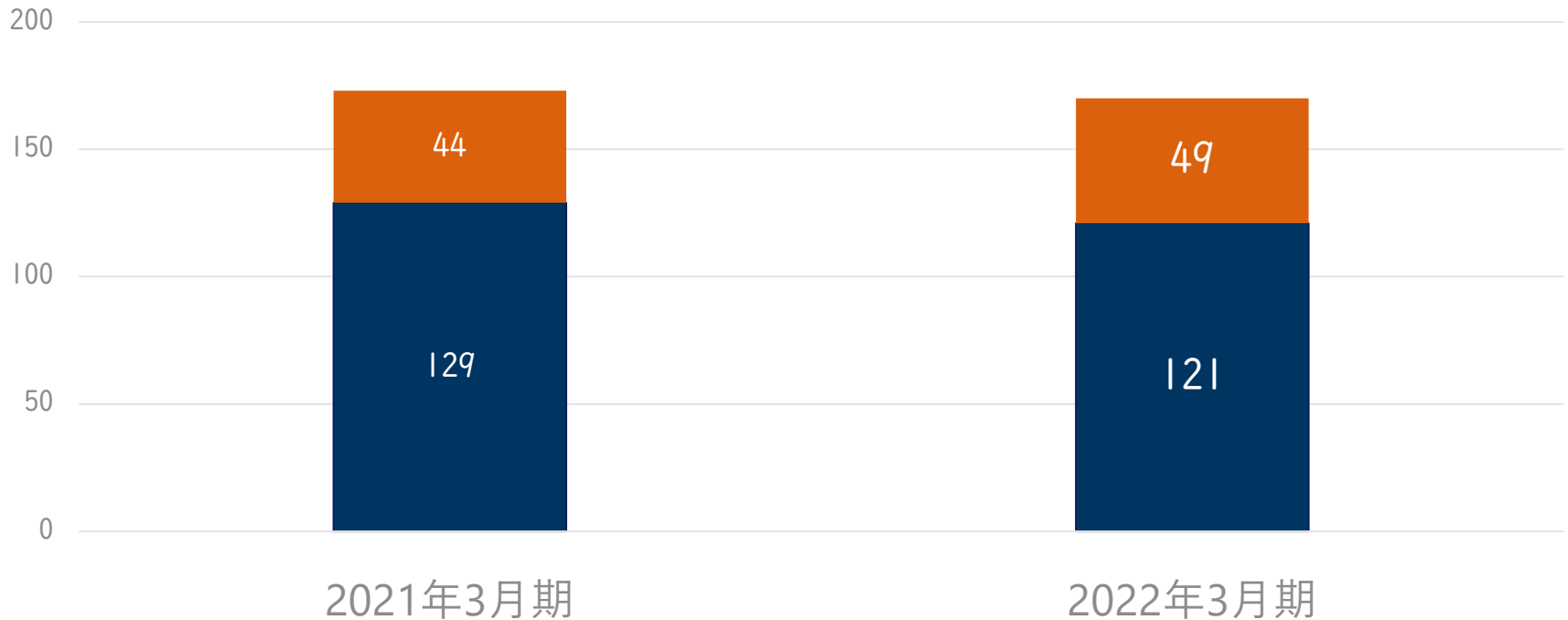


保守契約更新率は経営目標である95%を2年連続達成。

人員推移 対前期比較

(単位：人)

■ 社員（期末） ■ 協力社員（期中平均）



キャリア採用及び新卒採用が増加（2021年3月期8名から2022年3月期14名）。
 一方、社員の離職も増加（2021年3月期16名から2022年3月期22名）。
 協力社員数（期中平均）は製品開発に係る要員が増加。

売上原価と販売費および一般管理費の状況

売上原価	154百万円	増加	(前年同期比)
販管費	72百万円	減少	

主な増減内訳

業績連動賞与含む人件費の増加	131百万円
外注費の増加	72百万円
通信費の増加	9百万円
採用・教育費の増加	9百万円
広宣費、交際費、交通費の増加	4百万円
その他費用の増減	9百万円
オフィス家賃の減少	△17百万円
研究開発費の減少	△135百万円

貸借対照表概況

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額
流動資産	3,545	3,951	405
固定資産	353	491	137
総資産	3,899	4,442	543
負債	729	1,149	419
純資産	3,169	3,292	123

流動資産のうち、現金および預金は455百万円増加。
 固定資産のうち、ソフトウェアは94百万円増加。

その他トピックス

販売開始から1年で採用プロジェクト50件を突破

2021年3月に販売開始した次世代型特権ID管理ソフトウェア「ESS AdminONE」は、販売開始から1年で50件を超えるプロジェクトに採用されました。11月にはDX時代にふさわしい大型バージョンアップとして、クラウドサービスに対応する汎用性と不正アクセス検知機能を向上させた「ESS AdminONE V1.1」をリリースしております。



ESS RECが12年連続で国内市場シェア1位を獲得

当社の主力製品である「ESS REC」は「システム証跡監査ツール」市場の最新調査において12年連続で国内市場シェア1位を獲得いたしました。「ESS AdminONE」と組み合わせることにより、特権IDを使用する重要システムの操作を記録・監視することに加えて、カメラセンサー機能によりテレワーク時の管理に用途を広げた結果、出荷金額ベースのシェアでは70%を超え、採用企業数は累計で500社の大台を突破いたしました。

その他トピックス

「健康経営優良法人2022」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されました。新人事制度（エンカレッジスマートライフスタイル）によるワークライフバランスの定着とともに、長時間労働の削減や規則正しい食生活や運動習慣の推進など、今後も健康経営へ取り組んでまいります。



2022

健康経営優良法人

Health and productivity

東京証券取引所スタンダードへ移行

当社は、着実な成長と計画の実現による国内市場の確立を最優先とし、本年4月4日に上場市場を東京証券取引所スタンダードへ移行いたしました。引き続き、企業や官公庁の事業基盤であるコンピュータシステムの安定と安全をテーマに新たな製品やサービスの開発をおこない、競争力を強化することで企業価値の向上を目指してまいります。

2023年3月期 業績予想



2023年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	2,068	2,400	332	16.0%	次頁詳細
売上原価	773	900	127	16.4%	製品機能強化のため 外注費増加見込
売上総利益	1,295	1,500	205	15.8%	-
販管費	946	1,150	204	21.6%	研究開発費・営業人 員や広告費増加見込
営業利益	348	350	2	0.5%	-
経常利益	350	350	0	0.0%	-
当期純利益	248	250	2	0.6%	-

売上原価の増加は、製品機能強化のための外注費の増加を見込む。
 販管費は次世代型システム証跡管理ソフトウェアや本人確認によるなりすまし防止（AI搭載）の新製品開発や営業人員増強、広告宣伝費増加等の投資を強化。

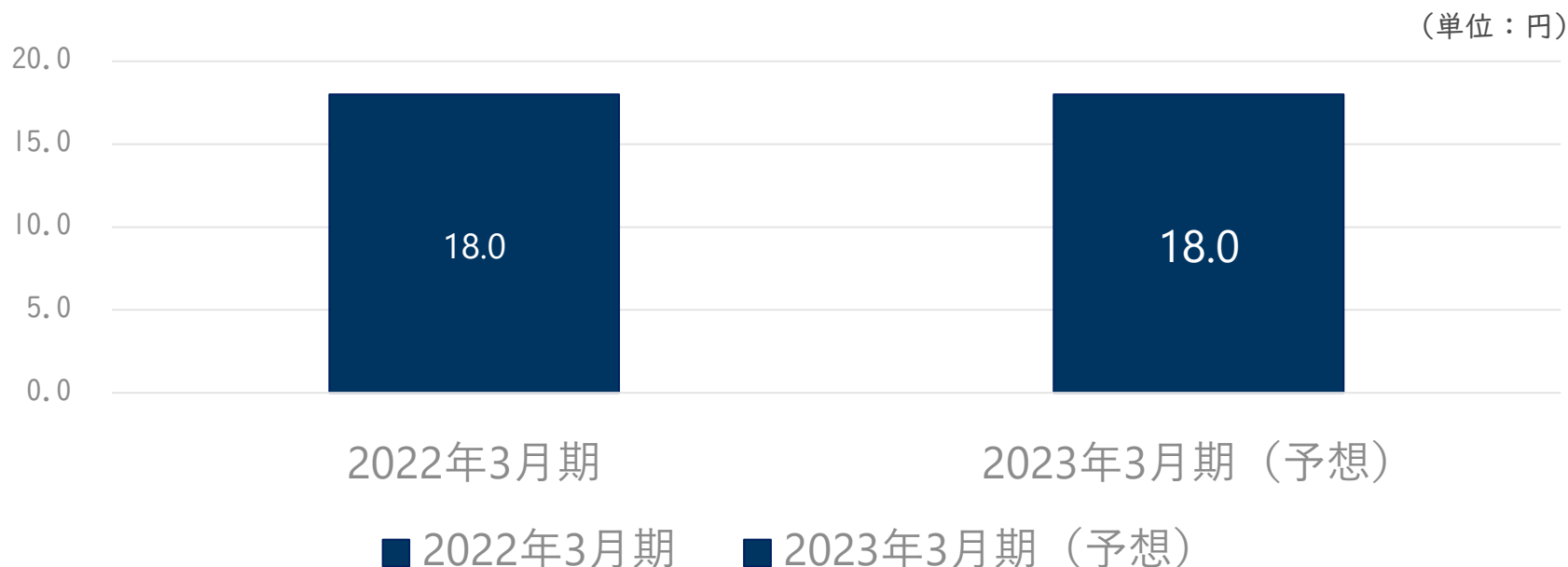
売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減額	増減率
ライセンス	575	700	125	22%
保守サービス	1,197	1,280	83	7%
クラウドサービス	81	100	19	23%
コンサルティングサービス	176	265	89	50%
SIO常駐サービス	21	40	19	90%
その他	16	15	△1	-6%
売上高合計	2,068	2,400	332	16.0%

2023年3月期 配当予想

- ・ 配当性向は33.3%以上とし、安定的かつ継続的な利益配分の方針
- ・ 2023年3月期は1株当たり18円を予想（配当性向48.0%）



2023年3月期 重点施策



2023年3月期 重点施策

顧客ターゲット別の営業推進

ソリューション強化

新人事制度定着による生産性向上

注目する市場の状況

クラウド市場

新たなゼロトラスト対策

- データやシステムがネットワークの内側からインターネット上へ移り、十分な対策が困難な環境に変化
- 通信を信頼せずに通信経路の暗号化、多要素認証、ユーザー認証強化、接続されるデバイスログ監視などで対策

テレワーク市場

テレワーク普及に伴う
セキュリティ対策

IPA:独立行政法人情報処理推進機構

- 技術的対策に加え人的管理と職場環境管理も重要
- 事後対策と証拠確保もテレワークに特化し、クラウドサービスのアクセス権限、ログ・証跡取得など幅広い対策

官公庁市場

ISMAL対策

内閣サイバーセキュリティセンター・デジタル庁・総務省・経済産業省が運営する政府機関が利用するクラウドサービスのセキュリティ評価制度

オンプレミス市場

大規模システム運用管理及び運用統制を実現

顧客ターゲット別の営業推進

売上高の20%を占める戦略的パートナーに対応した戦略営業部を独立



ソリューション強化

研究開発強化と協業ソリューション強化による売上高UP

研究開発分野

- ・次世代型システム証跡管理ソフトウェア開発（ESS REC新SI0統合*1基盤新製品）
- ・本人確認によるなりすまし防止（AI搭載）ソフトウェア開発（新製品）
- ・ESS AdminONE管理対象開発強化（新機能）

*1 新SI0統合：製品のアーキテクチャや言語を統一し、開発・保守の効率向上を目指します

協業ソリューション分野

- ・ESS REC Cloud (SaaS)サービス強化
- ・ESS AdminONE OpenAPIによる協業ソフトウェアの連携強化
- ・代理店ソリューション連携強化

新人事制度定着による生産性向上

社員が自律的に働くことで生産性とモチベーション向上を目指す

初年度
実績

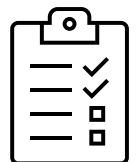
- 週休3日や週6日勤務を選択適用することにより育児・介護・大学院通学などワークライフバランスを実現
- コロナ禍も柔軟な在宅勤務、シフト勤務によりお客様・社内感染を抑え込み業務を継続



Encourage Smart life Style (ESS: エンカレッジスマートライフスタイル)

今年度
課題

- 市場の変化に応じた組織や施策に合わせて、柔軟に対応する業務内容・プロセスの見直しとこれを評価する仕組み作り
- リモート環境でも十分なコミュニケーションによるマネジメント手法の確立



将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となる情報を掲載する場合があります。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。